

第7回 あまくさ創生実践会議 会議録（概略版）

日 時	平成28年1月20日（水）14：30～17：00		
場 所	天草宝島国際交流会館ポルト 3階 多目的ホール		
出 席 者	別紙1「あまくさ創生実践会議 委員出欠表」のとおり		
議 題	(1) 前回会議録の承認について (2) 人口ビジョン（素案）について (3) 総合戦略（素案）について (4) その他		
資 料	≪事前配布資料≫ ・第7回あまくさ創生実践会議 次第 ・人口ビジョン（素案）、総合戦略（素案） ≪当日配布資料≫ ・第6回あまくさ創生実践会議 会議録（概略版） ・人口ビジョン（素案：H28.1.20現在）、総合戦略（素案：H28.1.20現在） ・天草市まち・ひと・しごと創生「総合戦略」修正箇所一覧表 ・平成27年度市政に関するアンケート		
報 告	・委員の交代（団体内の役員交代に伴う委員交代）		
	所属・職	新	旧
	(一社)天草本渡青年会議所 副理事長	渡邊 弘樹	上 剛司
	牛深青年会議所 理事長	西岡 勝太郎	岡部 伸大

議題（1）前回会議録の承認について

会 長： 第6回の議事録の承認について、事務局から説明をお願いします。

事務局：事務局より説明。修正等の必要があれば、事務局への報告をお願いしたい。

会 長：何かあれば事務局へ伝えてください。

議題（2）人口ビジョン（素案）について

事務局：前回からの変更点について、資料「人口ビジョン（素案：H28.1.20現）」に基づき説明。

会 長：2060年の目標人口を50,000人としていたところを、45,000人が現実的であろうということで下方修正を行っていただいている。事務局に補足説明をお願いしたいのだが、改めて45,000人に下げた理由、根拠をご説明いただけないか。

事務局：前回ご指摘があったように、社人研の人口推計「33,000人」についても、ある程度人口流出が落ち着いたことを前提にして算出してあった数値であったので、目標数値「50,000人」

は高いのではないかということで、当初目標数値として設定していた「45,000人」に下方修正しています。出生数を24,400人、人口流出を8,200人減少させるということにしておりますが、再度検討したところ、出生数を22,400人、人口流出を4,000人減少する数値の方が現実的であろうということで下方修正させていただいております。

会長：ありがとうございました。次回の会議で最終的な承認をすることになるが、それまではまだ修正が可能ということになる。

人口ビジョンは、各自治体で色んな選択がありえるものであるが、天草市で言うならば、事細かに人口を見るのではなく、ある程度大きな方向としてこれくらいを目指そうという捉え方をしているということが特徴と言える。私がポイントと考えていることとしては、資料P22の人口ピラミッドの形があるのではないかと思います。この実践会議は、その名のとおり、人口の傾向を意識しつつ動くということを考えたいと思っている。資料にある社人研推計の人口ピラミッドは逆三角形になっており、社会の構造としては好ましくない。このピラミッドが寸胴型になるのが理想的で、そうなると行政サービスも人口規模も安定すると言われている。天草市の人口ビジョン目標が示す2060年の人口ピラミッドでは、できるだけこの寸胴型を目指そうということが特徴だと思うので、どうやったらこの寸胴型が実現できるかを議論する必要があることを補足させていただく。

人口の数以外にこれまでの議論を踏まえ、改めて確認したい点など委員のみなさんから発言をお願いしたい。

委員：（発言なし）

会長：では、前回の会議での意見等を踏まえ、事務局に人口ビジョンを修正いただいた内容を確認いただいたということで議題（2）を終了する。このあとも何かお気づきの点がありましたら事務局にご連絡ください。

議題（3）総合戦略（素案）について

事務局：前回からの変更点について、資料「総合戦略（素案：H28.1.20現在）」及び「修正箇所一覧」に基づき説明。

※基本目標ごとに協議

◆基本目標1：天草を支える産業の発展と安定した雇用を創出する

会長：事務局から修正点について説明があったが、目標1の修正点や、そもそもの構成に対する意見や指摘があればご発言をお願いしたい。

委員：2点質問だが、まず1点目は、天草市として、一番力点を置く事業は何になるのか。全部やりますということでは、共倒れしてしまうのではないかと感じている。

2点目は、資料P20の宿泊者数の目標値が42万人であるときに、従業員数は10人以上の宿泊施設の客室稼働率は70%を超えているという状況の中ではキャパシティを超えているのではないかと思います。現状では42万人の目標は達成が難しいと感じるのだが、ほかに宿を増やすだとかの計画があるのであれば教えてほしい。

委員：天草市の宿泊施設は減少している現状であり、宿泊施設をどう確保していくかが課題と言え

る。前回の会議でも発言したが、いよいよ公的支援が必要なのではないか。

会 長：戦略の中には、具体的な事業も挙げられているが、これで本当に目標が達成できるのかというご指摘だと思う。市の方で考えている対策等あれば補足いただけないか。

委 員：ご指摘のとおり、宿泊施設の現状は厳しいところだが、観光産業が地域経済を引っ張っていくような総合的な産業でもあるという視点に立って、今後観光入込客数を増加させようと色々な事業に取り組むことを掲げさせていただいている。閑散期の誘客をどう図っていくかが課題であるところだが、観光客入込の平準化を図るためにも、夏場だけでなく冬場にも観光に来ていただけるような通年型観光を目指して入込客数を伸ばしていきたいと考えている。

また、現在、修学旅行生による民泊が御所浦、宮地岳、新和などで行われている。まずはこの教育旅行に力を入れるため、民泊施設の拡大を考えているが、加えて、課題である外国人観光客の受け入れについても民泊活用の拡大で対策を図りたい。

なお、住宅リフォーム制度の新設については具体的事業化が検討されていないのが現状であるが、今後検討すべき必要性はあると考えている。

会 長：観光入込客数を増やしていくためには、ご発言のとおり、平準化と民泊の拡充は必要なポイントだと思う。違う観点から言うと、観光が地域の産業を引っ張っていると言えると思う。

ここで地方経済研究所に意見を伺いたいのだが、天草市において観光産業が本当にこの地域を引っ張っている産業と言えるか。また、どういう条件を持っていれば、今後より一層天草市の地域力の向上に繋がると言えるか。

【地方経済研究所からの発言】

観光産業を「域外から域内にお金を落とす」という観点から見ると、産業連関表を作成する中では、域外から来られた方は宿泊、飲食、小売店と幅広い分野にお金を落とすという事が分かった。これらの分野の連携（産業クラスター）を強めることが、成長産業として地域を元気にし、人口緩和につながるようになると思う。

会 長：ありがとうございました。まさに最後の部分がポイントで、宿泊、飲食などの分野が連携することで成長産業になり得るのだと思う。

そうすると、私はこのプロジェクトで一番重要なのはAma-biZ（以下「アマビズ」という。）だと感じている。地方創生の先行事業としてアマビズに取り組み、全国からの注目度も高い。そこで、アマビズとして、今後どんな方向性を意識される必要があるかなど、ご意見をいただきたい。

委 員：基本的にアマビズの仕事は、天草市の事業者や起業者を支援していくことになるので、立ち位置的には「地域を引っ張るリーダー」には成りえないと考えている。ただその中で、産業支援と同じ視点で人口などのことを考えると、天草が他と違ってどうなのかということを考える視点が大事なのだと思う。天草市が、天草内外の人に選ばれ、国が積極的に応援したくなるようにするためには、天草の特徴を見出していくことを意識的にやっていかなければならないと思う。事業者支援の視点から言うと、観光客・宿泊者数を増やすことも重要だが、新規来訪やリピーターをどう増やすか、客単価をどう上げるかが重要になると思う。また、各事業における優先順位を考える際には、共通のものさしを持つことも重要である。

個人的な意見としては、天草の魅力は「多様性」。また今後においてポイントなのは、国

際的なトレンドを意識すること、自ら提案をしていくこと。

会 長：このアマビズを所管している市産業政策課として、この総合戦略ができたからこそ、アマビズに担ってもらうべき役割、もしくはアマビズとして考えることなどを一度整理する必要があるのではないかと思います。客単価を上げるためにどうやるか、多様性に沿っているような操業をしないと天草らしさがでないのならばどうやるか。また、仕事がないと移住者が来ないということであれば、アマビズに移住定住促進の事業を担ってもらえるのではないかとか、そういった観点から整理・検討いただき、次回、産業政策課よりご発言をお願いします。

ほか、委員からご発言はないか。

委 員：資料 P15 の KPI のうち、「農業生産法人設立、企業の農業参入」が 26 法人というのは低いのではないかと感じている。農業関係では、農地の集積が進められているし、営農組織の設立、そしてそれを法人化するという取組みをしています。県としても、天草地域で三地域ごとしまずし、市でも同数くらいのモデル事業をしていると思います。年間 5～6 ケースくらいは認可をしていく計画ですし、必要な分野ですので、この KPI では若干低いのではないか。

会 長：これについてご意見ありませんか。

委 員：産業政策課の大田と申します。この数値は農業振興課で設定した数値ですので、改めて検討させていただきたい。

会 長：ほかにいかがでしょうか。

委 員：金融機関としては、現在観光という分野に銀行としても積極的にバックアップしなさいという背景があります。民宿のハード面、たとえばトイレが和式の割合がどれくらいあるとか調査しています。トイレファンドを作ろうよという話も出ています。もちろん、事業性という前提はありますが、天草にリゾートホテルを呼び込むことはできないのかなんていうこともトップから話があっておりますし、そういう意味合いでは、観光という面には精一杯バックアップできる状況にあるとご理解いただいていい。

会 長：今後も行政をはじめ、各業界のみなさんの連携をお願いします。ほかよろしいですか。

委 員：資料 P14 に、企業等と連携した新たな産業と雇用に触れている箇所がありますが、KPI 指数が現状ゼロで目標 1 社となっているが、これはプラス α はないのか。現在、進んでいるものもあるし、これでは総合戦略として寂しい。

事務局：もう少し検討させていただければと思います。

委 員：天草には発明家が多い。たとえば、その研究自体を産業にしてもいいのではないかと考えている。また、先ほど新規就農者の話があったが、彼らが最初に課題になるのは土地の確保。ほかにも、住む家、耕す土地、販路。この 3 つを確保できる体制をつくと積極的に提案していけば、人は集まると思う。そういった形を、総合戦略で作っていけばいいのではないか。

会 長：2 点とも行政への示唆をいただいたので、ご検討のうえ次回どうするかご発言をお願いします。

◆基本目標 2：天草への新しいひとの流れをつくる

事務局：基本目標 2 について、変更点等ない旨説明。

会 長：気になる点等あればご発言をお願いします。

委員：(発言なし)

◆基本目標3：若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

事務局：基本目標3について、変更点やKPI指標等について説明。

会長：気になる点等あればご発言をお願いします。

委員：婚活については、先日市長からも「行政がやっても実績はあがらない」というような意見を伺った。民間の若い人を、婚活を進めるようにしてもらえないだろうかという話もあった。行政主導ではなく、民間の力を活用していいと思う。

会長：1点質問だが、先ほどの市政に関するアンケート調査の結果は様々なヒントがあるかなと思っていて、このアンケート結果で総合戦略をどう変える、どう変わるのでしょうか。その点をご説明いただきたい。

事務局：産科医不足等のご意見が多くあったので、事業化に向けて協議を進めており、新たに追加した取り組みになります。

委員：アンケートの調査項目に、「将来的にほしいと思う子どもの数」があるので、この結果を踏まえて人口ビジョンを計算されてみてはどうでしょうか。今のビジョンでは、県の希望出生率2.1を使って、それを継続するという言い方だったと思うが、せっかくこのようなアンケートや高校生アンケートの希望数等を使って算出されたらどうか。その方が現実味もあるし、緊張感も出る。

会長：250人だけのアンケート結果ではあるが、しかし、委員ご指摘のご意見も分かりますので、天草市としての観点から考えていただくことが重要ということになると思うので、事務局は検討をお願いします。

委員：資料P23の2行目に「子育て」という文面を入れてほしいと前回の会議後にお願いをし、対応いただきありがとうございます。家族で移住してきたので、そのとき市役所の子育て支援課で「わ・わ・わ」の情報誌をもらったのは大変ありがたかった。そういった民間での子育て支援の取り組みも合わせて、今後も情報発信していただけるようにしていただければと思います、言葉の追加をお願いさせていただいた。

会長：子育てについての情報が大事だとは分かってはいるものの、少しぼやけているので、その辺を効果的に民間の情報も併せて発信できるようにご検討をお願いしたい。

委員：天草市における周辺地域の子育て環境整備も進める必要がある。せっかく、周辺地域に移住をしたいと考えてもらっても、子育て環境が整ってないせいでその足を踏まれるということにならないようしなければいけないと思うので、その辺も配慮された方がいい。また、移住定住策については、受け身の印象を受けるので、積極的に、たとえばどういう人に来てほしいのかなどの考えを入れる必要があるのではないかと。

委員：保育所の民間移譲については、子ども子育て計画の中でも、保育所の形態が小規模でも実施できるということもありますし、民間移譲することで分園化による運営存続するということもできますので、民間移譲することで生まれるメリット等もあろうかということを進めさせていただいている。

委員：移住定住については、まさに先ほどご意見にあったように、天草に来ていただきたい方を移住させるという方向で協議を進めている。アマビズとも相談しながら、どういった人材が求められているかを把握し、都市部で自分の資格を生かしたいと思っている人とをマッチングするような相談会を開催していきたいと考えている。高額ではないが、そういった活動をする予算も要求しておりますので、そういう方向で動いていきたいと考えている。

委員：資料 P26 になるが、医師確保支援事業が追加で入ってきていることは非常によかったと思う。その中で気になったことは、その事業の中で「麻酔科」ということが急にでてきたのか、支障がなければお聞きしたい。また、急に医療の確保が追加されたのはなぜかも併せてお聞かせ願いたい。そして、ひとり親など妊産婦の日常生活支援事業が入っているが、ひとり親だけの妊産婦支援となるのでしょうか。

委員：まず、ひとり親支援についてですが、今までひとり親家庭であるところが対象だったが、妊産婦の方がいらっしゃる世帯も利用できるように、平成 28 年度から対象を拡大するということです。医師確保については、麻酔科医不足の現状があるためです。常勤の麻酔科医を確保するためには、非常勤の麻酔科医にも来ていただく必要があるが、各病院で非常勤医師の移動する交通費を負担するとなると非常に大きな負担となる。そういった実情がありましたので、非常勤の麻酔科医の交通費を市が補助するという支援をすることになりました。併せて、産婦人科医、小児科医の要望も多かったので（周産期医療施設）、同様に補助し支援をし、常勤医師の確保に努めていただければと思っている。

委員：非常に重要なことだと思ひまして、安心・安全に産めないという人口増加はありえないと思うので、果たして今の天草が安心して埋めるのかということを実際に考えなければいけないのだと思います。切れ目のない支援ということについては、我々の団体で、妊娠・出産の支援サービスを市民活動の一環として行っていますので、この項目の中に子ども・子育てに関する支援体制の整備の中には「協働による支援」が入っていますが、アの項目の「妊娠・出産への支援サービスの充実」という中での、そういった目線も入れていただければ市民にもっと市民サービスが広げられると思いますので是非ともお願いしたい。

会長：質問になりますが、アンケートの意見の中で、金銭面に関する記載が多く見られますが、この辺に関しての対応は何かありますか。これらの意見をどう受け止められていますか。

事務局：今のところというと、P27 になるが、保育料の軽減と医療費の助成事業ということになる。他の自治体と比較すると市が負担する部分は大きくなっていると言える。拡大に関して議論もあるが、具体的な結論は出ていない。

会長：これだけ金銭的、経済的意見がだされているので、保険料、医療助成、そういった観点やそのほかにもあればと思ってご発言をお願いしたところです。みなさんいかがでしょうか。

委員：核家族化から派生しているのではないかと考えています。県の総合計画の中では、多世代居住に関する支援の考えもある。天草でもそういうことを検討してみるのも面白いのでは。

委員：私たちの周りには、経済的な理由で子どもを産まないという方は案外少ない。逆に厳しくても産んでいる人もいます。アンケートの結果をみると経済的な理由が目には言っているが、実際のところは見えていないのかなと思うところもある。

委員：現場の声のご報告ということで発言させていただく。本人負担の雇用保険料は 100 円、200

円ほどですが、それさえ払いたくないということを言う方たちもいるということ、みなさんに知っておいていただきたい。

会 長：アンケートから様々なことが見えてきたので、この観点は一度事務局の方で再度検討していただきたいと思います。

◆基本目標4：市民が誇りを持ち安心して暮らせる地域をつくる

事務局：基本目標4について、変更点やKPI指標等について説明。

会 長：気になる点等あればご発言をお願いします。

委 員：参考までにですが、健康ということ言えば、「マイナスをゼロにする」というイメージがあると思うが、商売の観点からすると、健康プラス何か、つまりQOLの話になる。そこで、天草で興味深い活動だなと思っているのは、倉岳町の幸福量調査である。せっかくなので、この調査と絡めて、健康寿命日本一プラス日本一幸せな島づくり、まちづくりみたいなことをしてもいいのかなと思います。また、具体的な事業については、もっと民間に任せた方がいいかなと思っています。民間でQOLにつながる取り組みをしている団体がすでにありますので、そういった団体をうまく活用されたいのではないかと思います。このような、健康から一步踏み込んだ取り組みをするのもいいのではないかと。

委 員：これまで市に対して、交通不便地帯の調査をお願いしているが、一部で実施はされているものの全体的には取り組まれていない状況です。近い将来、交通のアシがなくなるという危機的状況が迫っていますので、調査を進めてそれにどう対処していくのかということもこの戦略の中にみせてほしい。

会 長：人口ビジョンを見たからこそ、いつの時期にリスクがあるんだということ、天草市として把握されていたらいのではないかと思います。総合戦略は5年で見えていますので、その範囲では考えにくいのですが、現実的なこととしてリスクもあるということ把握されていたほうが、バスの話はわかりやすくなるのではないかと思います。それでは、このほか何かお気付きの点がありましたら事務局に連絡してください。

議題（4）その他

会 長：では、その他ですが、何かございませんか。

委 員：（発言なし）

会 長：私からですけれども、本日の意見の中でもあったように、メリハリをつけるということがずっと課題になりつつ気になっているところでもある。総合戦略ではここを押すんだ、これが特色ですというところを明確にしたいと思っています。それが、なんなのかというのを明確にしたい。それに関しましてみなさんに考えていただきたいですし、市としてもこれですというのを根拠立てて出していきたいと思っています。是非次回発表いただきたいと思っています。

次に、この会議は、来年以降も続くと思っています。次回は、総合戦略ができたからこそ、是非ともこんなことをしたい。だからこそ、プロジェクトチームを作りたいとか、そういった意見交換をやりたいと思っています。これまでの議論であった意見等について整理をし、

委員のみなさんには、こういったことはやったほうがいいのではという提案をしていただきたいと思います。様式のフォーマットは事務局にお任せします。次回に向けた話として、お願いさせていただきました。

では、事務局から次回の案内等をお願いします。

次回以降の開催日について

事務局：今回は、平成 28 年 2 月 17 日に午後 1 時半から、本日と同会場のポルトで開催する。

内容としては、パブリック・コメントの意見等への対応、また、今日お配りしたアンケートの結果も整理しまして、最後、素案を出していただきます。

会 長：では、今日の会議は以上で終了します。皆様、ありがとうございました。

(以上)

あまくさ創生実践会議 委員名簿					
H28. 1. 20 現在(順不同)					
		所属	役職	氏名	備考
1	会長	慶應義塾大学	教授	タムムラ マサトシ 玉村 雅敏	
2	副会長	天草市まちづくり協議会連絡会	会長	ナカガワ タケハル 中川 竹治	
3	委員	本渡五和農業協同組合	代表理事常務	ユ スキ アキオ 湯貴 秋男	
4	委員	あまくさ農業協同組合 指導販売部	果樹園芸課長	ゴトウ ノブユキ 五嶋 伸幸	欠席
5	委員	天草地域森林組合	代表理事専務	カワチ コウイチ 河内 公一	欠席
6	委員	天草漁業協同組合	総務課長	ウエダ コウイチロウ 植田 弘一郎	欠席
7	委員	(一社)天草宝島観光協会	事務局長	イワミ リュウジロウ 岩見 龍二郎	
8	委員	天草市起業創業・中小企業支援センター	センター長	ノマ ヒデキ 野間 英樹	
9	委員	天草経済開発同友会	委員長	ヤマモト ヒロシ 山本 博	欠席
10	委員	(一社)天草本渡青年会議所	副理事長	ワタナベ ヒロキ 渡邊 弘樹	
11	委員	牛深青年会議所	理事長	ニシオカ カツタロウ 西岡 勝太郎	欠席
12	委員	本渡商工会議所	事務局長	ホリタ ショウジ 堀田 照二	
13	委員	牛深商工会議所	常議員	エザキ タカシ 江崎 孝	
14	委員	天草市商工会	経営指導員	マツモト トシユキ 松本 利幸	欠席
15	委員	天草市保育所連盟	会長	スサキ トヨヒロ 洲崎 豊裕	
16	委員	天草市県立学校長会	代表	マエダ ミチハル 前田 三千治	
17	委員	連合熊本天草宇城上益城 地域協議会天草地区連絡会	幹事	ミヤザキ エイジ 宮崎 英治	
18	委員	天草市社会福祉協議会	本渡支所長	ハスイケ ミチヨ 蓮池 美智代	欠席
19	委員	NPO法人子育てネットワークわ・わ・わ	理事長	サワダ フクミ 澤田 福美	
20	委員	天草お産路	代表	ナカバヤシ マドカ 中林 円	
21	委員	肥後銀行 天草支店	支店長	ヨコセ ヒデオ 横瀬 英夫	
22	委員	熊本銀行 天草支店	支店長	イチグチ カツヤ 一口 勝也	
23	委員	天草信用金庫 地域創生室	理事	ワタナベ カズナリ 渡邊 一成	
24	委員	天草広域本部	総務部長	ハジメ キミオ 一 喜美男	欠席 (代理出席)
25	委員	天草市地域振興部地域政策課	課長	スガワラ ヒロアキ 菅原 弘晃	欠席 (代理出席)
26	委員	天草市健康福祉部健康福祉政策課	課長	イセザキ ユウキ 伊勢崎 裕樹	
27	委員	天草市経済部産業政策課	課長	オオタ ヤスト 大田 安人	
28	委員	天草市観光文化部観光振興課	課長	ワタナベ ヒデト 渡邊 英人	
29	委員	天草市教育部教育総務課	課長	ヤマナ スナオ 山名 直	
		天草市総合政策部	部長	カネコ マサヒデ 金子 正秀	
	事務局	天草市総合政策部政策企画課	課長	シオサキ トシヒコ 塩先 敏彦	
	事務局	天草市総合政策部政策企画課	課長補佐	ヒラヤマ タカヒロ 平山 高広	
	事務局	天草市総合政策部政策企画課	参事	カドグチ トオル 門口 徹	
	事務局	天草市総合政策部政策企画課	主査	ムカエダ マサタカ 向田 正隆	
	事務局	天草市総合政策部政策企画課	主査	ナカガワ ジュンコ 中川 淳子	